

着物でお部屋のイメージチェンジ

矢吹 信子

成人式で着た着物、嫁入り道具として持たせてくれた着物。今はなかなか着る機会も少なくなってきましたね。そんな着物、タンスの肥やしになっていませんか?今回は、帯や生地を暮らしに活かすご提案をいたします。着物をリフォームして洋服や小物にするのもいいですが、もっと簡単に!活用できる方法です。

まず1つめは「和のしつらえ」。帯や着物の一部を使ってテーブルセンターに。これだけでテーブルやお部屋全体の雰囲気が変わります。



2つめは「襖紙の代用」。古い着物や生地にもリをつけて襖に貼れば、モダンにイメージチェンジできます。また、襖の汚れた部分や下方に花形に切ったも

の貼ればポイントにもなります。3つめは「インテリア雑貨」として。身内の形見となってしまった着物、思い出深い着物などは片付けるスペースもとってしまいます。小さく可愛いサイズにリサイズしましょう。写真のものは、縮小した型紙をもとに裁断し手縫いして、衣桁は割りばし等を利用しています。棚などに飾れば、いつでも身近に感じられることができます。



矢吹信子さん

山口市在住。長年の主婦歴を活かせることを考え、整理収納アドバイザー1級、2級認定講師、福祉住環境コーディネーター2級を取得。現在、県内各地で各種セミナーなど開催。一人ひとりの生活スタイルと心に寄り添った整理収納の提案を心がけながら活動中。

